



感染症対策の手引き

1. はじめに

2. 屋内企画

屋内企画共通の感染症対策	2
歌唱を行う企画	3
講演会などを行う企画	3
パフォーマンスを行う企画	3
集団で楽器の演奏を行う企画	4
企画構成員と来場者が接近して行う企画	4
来場者同士が道具の共有を避けられない形での体験型企画	4
展示を行う企画	4

3. 屋外企画

屋外企画共通の感染症対策	5
物品販売を行う企画	5
パフォーマンスを行う企画	5
歌唱を行う企画	6
集団での楽器の演奏を行う企画	6
体験型企画を行う企画	6

4. ステージ企画

ステージ企画共通の感染症対策	7
パフォーマンスを行う企画	7
歌唱を行う企画	7
集団で楽器の演奏を行う企画	8
五月祭当日及び準備にあたって遵守してほしいもの	8
観客について	8

5. 参考画像

相談会形式の企画(物販をする企画)	9
ステージ企画や歌唱などの企画	9

はじめに

- 本手引きは五月祭における企画の準備・実行・片付けの際に必要な感染症対策をまとめた資料です。
- 各企画形態ごとに必要な感染症対策を記しています。

屋内企画

- 本章では、キャンパス内の屋内で実行する企画全体に関わる共通の対策についてまとめたのち、企画内容ごとに必要となる感染症対策を個別で記載します。

屋内企画共通の感染症対策

各教室の人数制限について

- 企画場所の最大同時滞在人数は、教室ごとに定められた最大同時滞在可能人数を超えないように調整してください。
 - » 各企画の利用する教室の最大同時滞在可能人数は、後日「問い合わせ」にてご連絡します。
 - » 各教室の最大同時滞在人数は、企画構成員・招へい者と来場者の合計人数です。企画構成員の最大同時滞在人数は、来場者の受け入れが可能となるよう余裕をもって検討してください。
- 一部企画については事前予約制度による人数の制限をお願いします。

五月祭準備にあたって

- 企画場所の窓と出入口を開放し、換気を行ってください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行ってください。その後は、30分につき1回以上、すべての窓やドアを5分間開放してください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行うようにしてください。控室の場合も同様です。
- **マスクは原則着用してください**
- **マスクを着用している人同士の間隔は1m以上を確保するようにしてください。**
- 企画場所や控室に入る前に、手洗いやアルコール消毒を行ってください。
- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 利用し終わった企画場所は、液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒します。特に手すり、電気のスイッチ、ドアノブ、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については、委員会で事前にリストをつくるなどして、消毒を徹底します。控室も同様です。

五月祭当日の企画実行にあたって

- 30分につき1回以上、すべての窓やドアを5分間開放します。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行うようにします。
- 人同士の間隔は**1m以上**離し、必要のない会話は控えてください。
- **マスクは原則着用してください。**
- マスクを着用した上で、企画場所での移動などによって企画構成員が一時的に1m以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むように企画内容や、企画スペース内の人員や物品の配置を調整してください。
- 液体アルコールをティッシュや布に含ませ軽く拭くことで、企画場所をこまめに消毒します。特に机や椅子の背もたれ、ドアノブ、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については、委員会で事前にリストをつくるなどして、消毒を徹底してください。
- 来場者にはマスクの着用を徹底させてください。また企画中、マスクを外している参加者を発見した場合はマスクの着用を徹底してください。
- 来場者には原則として発声を控えさせ、来場者同士の間の距離が**1m以上**空くようにスペースを設定してください。
- 企画場所へ来場者が立ち入る際には、入り口にアルコールを設置し、手指の消毒をお願いします。
- 待機列を設置する場合も来場者の間の距離が**1m以上**空くように待機列を形成します。

歌唱を行う企画

- 歌唱中は人との間隔を**1m以上**離してください。
- 原則としてマスクを着用してください。
- 合唱を行う場合は、全員が同じ方向を向き、向かい合うことはないようにしてください。また、後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は、後ろの歌唱者に対して斜め前に立つことを原則としてください。

講演会などを行う企画

- 講演者どうしの距離も含めて人との間隔は**1m以上**離し、必要のない会話は控えてください。

パフォーマンスを行う企画

- パフォーマンスの都合上、距離の如何を問わず企画進行の都合上マスクを着用できない場合、もしくは、マスクを着用していても1m以上離れることが難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。

集団で楽器の演奏を行う企画

- 舞台上のスペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討してください。
- 演奏において支障がない場合、マスクを着用してください。
- 動画撮影者などと演奏者の距離は、十分に離してください。
- 人との間隔は**1m以上**離し、近距離で向かい合う形での演奏は避けてください。
- ただし、舞台上のスペースの都合上、人との間隔を1m以上離す余裕がない場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 位置を固定した状態で演奏を行う企画で、距離の如何を問わず企画進行の都合上マスクを着用できない場合、もしくは、マスクを着用していても1m以上離れることが難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。

企画構成員と来場者が接近して行う企画

- 位置を固定した状態で企画を進行することが避けられず、企画構成員同士、もしくは企画構成員と来場者同士が1m以上離れることができない場合、パーティーション、もしくはそれとして代用できるものを用意して対応してください。

道具の共用を避けられない形でかつ着座で活動を行う企画

※ 麻雀、ボードゲーム、カードゲームなどが該当します。

- 企画構成員及び企画参加者が共用を避けられない物品については、個人の利用が終わった段階もしくは個人の利用が3時間を超える場合には、3時間に1度消毒を行ってください。

来場者同士が道具の共有を避けられない形での体験型企画

- 屋内スペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討してください。
- 位置を固定した状態で企画を進行することが避けられず、距離の如何を問わず企画進行の都合上マスクを着用できない場合(マスクが着用できない人が参加するあるいは熱中症などの危険があるためにマスクの着用できない状況) もしくは、マスクを着用していても1m以上離れることが難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 企画進行中も咳エチケットを実践してください。

展示を行う企画

- 人の間隔は**1m以上**離し、会話はなるべく控えてください。

屋外企画

- 本章では、キャンパス内の屋外で実行する企画全体に関わる共通の対策についてまとめたのち、企画内容ごとに必要となる感染症対策を個別で記載します。

屋外企画共通の感染症対策

屋外企画は、共通して以下に示す感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容に応じた感染症対策を行ってください。

- **マスクは原則着用してください。**
 - » マスク着用が難しい場合、追加での感染症対策を求めます。委員会が提示する感染症対策の実施が難しい場合には、企画実行が困難になることがあります。
- **マスクを着用している人同士の間隔は1m以上を確保するようにしてください。**
 - » マスクを着用できない場合は、**2m以上**を確保するようにしてください。
- 企画場所は、定期的に液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。
- 来場者へのマスク着用の注意喚起をするようお願いいたします。

物品販売を行う企画

- 物品および代金は手渡しを避けるようにしてください。
- 待機列ができる場合は、来場者同士の間に1mの距離を確保するようにしてください。
- 企画場所付近に来場者が密集することがないようにしてください。

パフォーマンスを行う企画

- **マスクは原則着用してください。**
 - » パフォーマンスの都合上マスクの着用が困難な場合は、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえで、追加での感染症対策が必要となります。
- パフォーマンスの都合上支障がなければ企画構成員同士を**1m以上**の距離を確保するようにしてください。
 - » パフォーマンスの都合上1mの確保が困難な場合は、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえで、追加での感染症対策が必要となります。
- 演者と来場者との距離は**2m以上**確保するようにしてください。
 - » 十分な距離が確保できない場合は、パーテーションなどを設置し距離を確保した場合と同等の効果が得られる処置を行ってください。
- 企画場所に来場者が密集せず、来場者間に十分な距離が確保できるようにしてください。
- 来場者に声援など発声を伴う行為は行わず、拍手のみとすることを注意喚起してください。

歌唱を行う企画

- 複数列での合唱を行う場合は、前の歌唱者は後ろの歌唱者の斜め前に **1m** の距離を確保して原則立ってください。
- 発声を行う人の横間隔は **1m以上** 確保するようにしてください。
 - ※ 距離の確保が困難な場合は、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 歌唱者と来場者との距離は **2m以上** 確保するようにしてください。
 - » 十分な距離が確保できない場合は、パーティションなどを設置し距離を確保した場合と同等の効果が得られる処置を行ってください。
- 企画場所に来場者が密集せず、来場者間に十分な距離が確保できるよう呼び掛けにご協力ください。
- 来場者に声援や大きな声を出す行為は行わず、拍手のみとするよう、来場者に対して注意喚起を行ってください。

集団での楽器の演奏を行う企画

- 演奏者同士の前後間隔は原則 **2m以上** 確保するようにしてください。
 - » 演奏スペースの都合上2m以上確保できない場合は、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 演奏の都合上支障がない場合は、原則マスクを着用してください。
 - » 打楽器演奏者など演奏に呼気を伴わないものは原則マスクを着用してください。
 - » 演奏の都合上マスクが着用できない場合は、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 舞台と来場者の最前列との距離は **2m以上** 確保するようにしてください。
 - » 2m以上確保できない場合は、パーティションなどを設置し距離を確保した場合と同等の効果が得られる処置を行ってください。

体験型企画を行う企画

- 一度に参加できる来場者の人数は、最低でも来場者と企画構成員の間に **1m以上** の距離が確保できる人数に制限してください。
- 相談会形式など、来場者が企画を体験するブースが複数用意される場合、それぞれのブース間の距離は **2m以上** を確保できるようにしてください。
- 相談会などで来場者と企画構成員が一定の時間向かい合う場合には、パーティションなどを設置し飛沫防止を徹底してください。
- 来場者が企画場所にある道具や展示品に触れるような企画の場合は、来場者が交代するごとに企画構成員がそれらの道具や展示品をアルコールなどで消毒するようにしてください。
- 待機列ができる場合は、来場者同士の間に十分な距離が確保できるようにしてください。
- 企画場所付近に来場者が密集することがないようにしてください。

ステージ企画

- 本章では、キャンパス内のステージで実行する企画全体に関わる共通の対策についてまとめたのち、企画内容ごとに必要となる感染症対策を個別で記載します。

ステージ企画共通の感染症対策

ステージ企画は、共通して以下に示す感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容に応じた感染症対策を行ってください。

- **マスクは原則着用してください。**
 - » マスクの着用が難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
 - » 委員会が提示する感染症対策の実施が難しい場合には、企画実行が困難になることがあります。
- **企画構成員同士の距離はマスクを着用した状態で1m以上確保してください。**
 - » マスクを着用できない場合は、2m以上を確保するようにしてください。
- 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に1m以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。
- **舞台上がる企画構成員の人数が最小限となるようにしてください。**感染症対策が十分に行えない場合には、人数の削減を求めることがあります。

パフォーマンスを行う企画

- **マスクは原則着用してください。**
 - » マスクの着用が難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- **企画構成員同士の距離はマスクを着用した状態で1m以上確保してください。**
 - » 位置を固定した状態でパフォーマンスを行う企画で1m以上離れることができない場合、委員会を通じた大学との個別調整の上、追加での感染症対策が必要となります。

歌唱を行う企画

- **マスクは原則着用してください。**
 - » マスクの着用が難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は後ろの歌唱者に対して斜め前に立つことを原則とし、斜め前方の人との距離は**1.5m以上**離してください。
- 合唱を行う場合は全員が同じ方向を向き、向かい合うことはないようにしてください。
- 指揮者と歌唱者の距離は**2m以上**確保してください。
 - » 距離の確保が困難な場合には、左右からの飛沫を防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に設置してください。

集団で楽器の演奏を行う企画

- マスクは原則着用してください。
 - » マスクの着用が難しい場合には、委員会を通じて大学と個別に調整を行ったうえ、追加での感染症対策が必要となります。
- 楽器を演奏する場合は全員が同じ方向を向き、向かい合うことはないようにしてください。
- 指揮者と演奏者の距離は 1m以上確保してください。
 - » 距離の確保が困難な場合には、左右からの飛沫を防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に設置してください。

五月祭当日及び準備にあたって遵守してほしいもの

- 企画場所の窓と出入り口を開放し、換気を行ってください。
 - » 教室に窓がない場合は機械換気を十分に行ってください。
 - » 常時換気が困難な場合は30分に1回以上、1回5分以上、全ての窓とドアを開放してください。
- 手洗い、アルコール消毒、検温を徹底してください。
- 機材を触る人を最小限に抑え、機材を触る前、触った後には手洗い、アルコール消毒を徹底してください。
- 液体アルコールをティッシュや布に含ませて拭くことで、机や椅子の背もたれ、ドアノブ、マイクなど不特定多数の人が触れる箇所について、こまめに消毒してください。
- 身体的接触は控えてください。
- 準備は必要最小限の人数で行い、会話はなるべく控えてください。
- 人数制限を行い、それを超える人数での控室の利用は行わないでください。
- 人が集まる場合は、その日に健康状態を確認し、体調不良の場合は自宅療養してください。

観客について

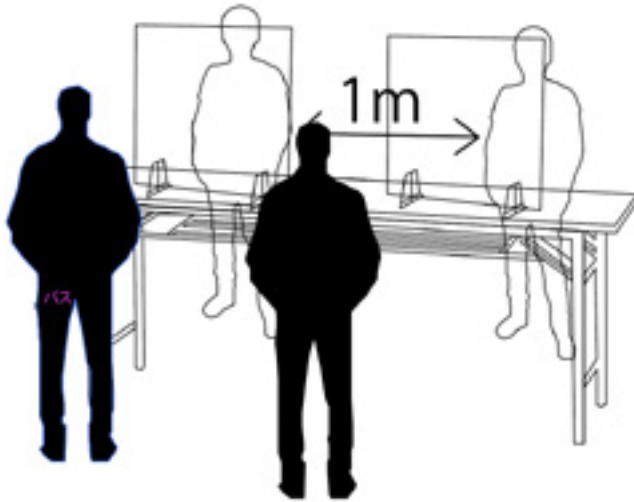
観客の感染症対策につきましては、委員会が管理いたします。

- コール&レスポンス、参加型演出、来場者と接触する演出（ハイタッチ等）、紙吹雪等の演出は禁止します。
- 事前予約制度を導入して人数制限を行い、それを超える人数の入場は行いません。
- 入場時は手洗い、アルコール消毒、検温を徹底します。
- 客席では会話を控えるよう、注意を促します。
- 待機列では足元に目安となるラインを設置し、人と人との十分な間隔を確保します。
- 感染予防のため、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底、人と人との十分な間隔の確保の徹底について来場者に対して周知・広報します。
- 人と人との間隔は1m以上空けます。舞台端と客席最前列までを 2m以上確保します。
- 全員が同じ方向を向き、向かい合うことはないようにします。
- 規制退場を行います。

参考画像

感染症対策をする上での参考画像となります。企画実行の一助となれば幸いです。

相談会形式の企画(物販をする企画)



ステージ企画や歌唱などの企画

